
テイルズの世界に転生！！（改良バージョン

椿

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テイルズの世界に転生！！（改良バージョン

【Nコード】

N9016S

【作者名】

椿

【あらすじ】

俺の名前は鈴斑凌牙。只のしがない隠れオタクの高校生だ！

しかし、そんな日常とも今日でお別れだ！！何か知らんが手違いで殺されて転生チャンスが訪れた！

神から貰った力で暴れてやるぜ！

（この作品は『テイルズの世界に転生!!』の改良バージョンです。
と言っても駄文とゆうのわ変わりませんが（汗
それでも良い方は暖かい目で見てください。）

ブログ!! (前書き)

思い切って書き直しました(汗

駄文ですがどうぞ)

プロローグ!!

「・・・あれ？」

どこだここ？俺は確かさっきまで自分の部屋でゲームしてた筈なんだが・・・何このアリ◯ールでも実現出来なそうなほど真っ白な空間は？

「この空間は普通神しか入れない場所なんだけどね、君はちよつと訳ありだよ」

「まさかと思うけど・・・あれか？」

俺があれかと言ったのは二次創作ではよくある『手違いで殺しちゃいました♪』とゆう“テンプレ”である。

さて、言い忘れたが俺の目の前には神っぽい感じのイケメンがいる。本当にテンプレならこいつが神の筈だが。

「今君が思ってることはほとんど当たってるよ」

「・・・とゆうことは？」

「ああ、君は僕の手違いで死んでしまったんだ。すまない」

「過ぎたことは仕方ないさ、それより俺はどうなるんだ？」

「・・・意外な反応だね。てっきりキレるかと思ったけど」

確かに普通の人間ならキレるだろう。なんせ死んだ理由が神の手違いで本当は死ぬ必要はなかったんだからな。

しかし、残念なことに俺はノーマルではない、俺は結構なオタクだ。まあ学校ではノーマルぶってたが。

なので一度はテンプレに憧れるもんだ、かなり嬉しい。

「とりあえず元の世界に帰すことは出来ない。その代わり君には他の世界に行ってもらおうよ」

「他ってアニメの世界とかのことか？」

「そゆこと。でも僕は位の低い神だからこの3つの世界しか無理だ」

1 魔法少女リリカルなのは

2 フェアリーテイル

3 テイルズシリーズ（A、D、D2のどれか）

「・・・これは3しかないな」

因み何故3しかないかだが、まず1のリリなのだが・・・魔王に会いに逝けと？みたいな理由

次に2のフェアリーテイルは名前は聞いたことあるが内容は全然知らない。とゆう理由

そして3のテイルズシリーズ（A、D、D2）は全部俺がプレイしたゲームだし内容も頭に入っているからだ。やっぱり自分が知っている世界に行ってみたいもんだ

「3のテイルズシリーズだね。A、D、D2のどれがいい？」

「んんん。Aで頼むよ」

「了解。さて、あの世界はバトルがある世界だから好きな願いを5つまでいいよ」

「マジ！！んじゃ何か紙とペンある？」

「どうぞ」

位は低いとはいえ流石神。何もないところいきなり紙とペンを出すとは・・・こいつ、でK「早くかいてよ！」サーセン（笑

にしても5つか。大抵は1つか3つとかだがこれはラッキーだ。テイルズの世界だから余りヤバ過ぎるのは駄目だな、例えば一方通行とか未元物質とか幻想殺しとか・・・全部禁書じゃないか（汗

さて、ぼちぼちやらんとな。神さんのイケメンフェイスが段々曇ってきたるしな。

「さらさらさらくっとな。こんな感じでどうだ？」

「うわ！！あの世界でこれはチート超えてテラチートでしょ！！もうちよい加減してよ」

「えー禁書系選ばなかったんだから多めにみてよ」

「禁書系はテラチート超えて神になるよ！！」

「分かったよ。さらさらっと、これでどうよ？」

これで無理なら軽く死ねるな

「・・・まあいいや。あとは何かあるかい？」

「え！！まだ追加していいの？」

「違う違う、容姿とか自分のステータス的なやつだよ」

「神さんあんただんだけいい人なの！！お兄さんちょっと感動したよ」

今まで読んだ二次創作でここまでしてくれた神はいただろうか！？

この人マジ神だよ!・・・いやゴツドだ(笑)

「・・・君ってたまにおかしくなるよね。後僕神だよ」

「それが俺クオリティーだ。容姿はD2のジューダス仮面無しで宜しく」

「良いけど仮面無しならDのリオンで良くない？」

「神さんあんたは分かっているぜ」

何か神さんが何が?的な顔してるが関係ない!俺がリオンとジューダスの違いを教えてやるよ!!

〈主人公説明中〉

しばらくお待ち下さい

〈主人公説明終了〉

「分かったかい？」

「・・・要は髪分け目が違うだけじゃない？」

「もう一回説明しようか？」

「結構です！！はあくそれで後はないかい？」

「後は修行したいのと武器が欲しいです」

力を貰ったとはいえ使えこなせなきゃ宝の持ち腐れだし、素手で戦うのもキツイものがある。

「分かったよ。武器は後で渡すから修行しようか」

「了解で、相手は？」

「僕だよ、でもその前に基礎からやろうか」

パチン！

そういつて神さんが指パチンすると急に真っ白い空間がどこかの島になった。

「すげー流石神だ」

「さて、まずはスタミナからつけないとね。戦闘訓練はまだまだ先だよ。大丈夫、時間はたっぷりあるから」
神さんは物凄い笑顔でそう言ってきた。

その日から俺の修行とゆう名の地獄が始まったのは言うまでもないだろう

プロローグ!! (後書き)

見て頂いた方、ありがとうございます m () m

感動などやご指摘があればなんなりとどうぞ

転生前主人公設定 (改) (前書き)

転生前主人公設定です。

ではどうぞ

転生前主人公設定 (改)

※転生前※

・名前 鈴斑 凌牙 (すずむら りょうが)

・年齢 16歳

・身長 自称170センチ
(本当は169センチ)

・体重 56キロ

・特技・趣味

特技は学校でノーマルになること (オタクだとバレないようにするため)

趣味はゲームやマンガやアニメ。結構なオタク

・容姿

日本人特有の黒髪黒目で髪型はストパーで肩に少しかかる程度の長

さ。

顔立ちは中の上くらいで少し目つきが悪い。

体つきは一目すると少しヒョロイが筋肉は意外とある。

・性格

基本はめんどくさがり屋&他力本願なので余り自分から何かをしようとはしないが、面白そうなことや身内などに頼まれたことなら動く。

後嫌いな奴に対しては毒舌になったり皮肉を言う

そしてたまにネタに走ることもある

転生前主人公設定 (改) (後書き)

感想ご指摘いつでも待ってます!!

※第一話※バグキャラ誕生（前書き）

今回は少し長めです。

それとかなりグダグダです!!

★第一話★バグキャラ誕生

そして、あの修行とゆう名の地獄が始まってから10数年の月日が流れた

（モリスン風

「もう君に教えることは何もないよ。・・・とゆうか僕より強くなるってどゆこと！？位低いとはいえ一応神だよ！？」

「まあ、あんな地獄みたいな耐えればこうもなるよ。後能力のお陰だな（笑）」

あれは本当に地獄だった（汗
修行中何度死にかけたか。え？修行の内容は何かって？・・・本当は思い出したくないんだが仕方ない。全部は長すぎるから今日は二つだけ思い出してみよう。



(回想)

初日から2年後まで

「さて、まずはこの空間についてだけど

- 1、歳をとらない
- 2、眠くならない
- 3、疲労や身体の傷も5分くらいで無くなる（けど即死クラスの攻撃受けたら死んじゃうよ♪）
- 4、魔力なども5分くらいですぐ満タン
- 5、腹減らない

て感じだから修行しまくれるよ。」

「おおこれなら強くなれそうだ・・・って3つ目おかしくね!? 俺死んだらこの小説終わっちゃうよ!? それでいいのか作者!？」

《メタ発言止めれ!! 後お前が死んだらそっちの神さんに主役変更だから別に構わん(笑)》

「くっ!! お前が俺を死なせて主役変更したいつつうなら——
——」

「いいぜ、」

「まずはそのふざけた幻想をぶち殺す!!」

「・・・君はさっきから何を一人で騒いでいるんだい？」

やっ止めろ!! 俺をそんな可哀想な人を見る目で見ないでくれ!!
・・・はて? 俺はさっきまで誰と話していたんだ?

「それは僕が聞きたいんだけどね」

「あれじゃね? よくある電波受信的な?」

「もうそれは置いて、まずはスタミナからだよ。君には今からこの島の周りを一周走って貰うよ」

「了解！それじゃ」

俺は勢いよく走り出した。にしてもたった一周とは思わなかったな、この島一周およそ10キロメートルはあるだろうから最初はこれが妥当なのかね？

まあ前世でもそこそこ体力はあったからこのペースなら時間は架かるが一周出来るだろう、と思っていた時期が俺にもありました。だって……

「因みに10分後にスタートする僕に追い抜かれたら、一周追加だから♪」

とんでもなく鬼畜なこと言うんだぜ！！

それを聞いた後俺は必死に走った。しかし、たかが一般人が神の持久力&速さになう訳なく10分後すんなりと抜かれてしまった。

「は、早すぎだろ！神マジパネーよ！」

「一回抜いたからもう一周追加！！ガンバ♪」

「クソオオオオオオオオオオ！！」

それから走って、抜かれて、追加されて、バテて、休んで、の無限ループだった。

最初はこれ終わんなくね？って思ったけど、俺が叶えて貰った願いの中に“あらゆる事に対して限界を無くす”とゆう能力があったのでその日から約2年後くらいにやっと神を抜いた。

因みにその能力の説明だがその名の通りあらゆる事に対して限界を無くす能力である！！

・・・余り意味が解らないと思うので解かり易く説明しよう。（b y 作者）

テイルズオブジァビスとゆいゲームをご存知だろうか？そのゲームのメインキャラ達のレベルの上限は200である。

つまりレベルが200になったらもうステータスは上がらなくなってしまう。

何が言いたいかとゆうと、先程紹介した能力はその200とゆう限界を突破してさらに強くなる。

要はチートである！！・・・説明終了！！（b y 作者）

・・・何か電波らしき物を受信したような気がしたが・・・気にしたら負けだぜ！！



(回想)

ダッシュ地獄(俺命名) から約3年後まで

「さて、お次はお待ちかねの戦闘訓練だよ」

「やっとかく、で相手は神さんかい？」

「いや、最初は魔物が相手だよ!!」パチン!!

神さんが指ばっちんすると島だった空間がどこかの洞窟になり・・・
って神さんがいないぞ!!

「チクショウ! 神さんの奴俺だけ置いてどこ行きやがった! それに
ここ物凄く奇妙ワリーんだけど!」

文句を言いつつ俺は洞窟進んで行く。そして少し開けた場所に到着
し又歩き始めようと思った矢先、足に何か固い物体がぶつかった。

不思議に思い拾ってみた。

それは・・・

「これ・・・銃か？ しかも二丁かよ、色も形も普通とは違うし。使えんのかよ（笑）」

そんな感じで変な二丁の銃を弄っていたら、突然足音が後ろから聞こえてきた、それも複数。

「ああ、なる程ね。そうゆうことかよ」

俺は目の前に居る複数の魔物らしき狼達を見て悟った

「ここは魔物の巣か何かだな！？ チクショウ！！」

「「「「「GaUuuuuuu！！！！」」」」」

俺は先程紹介した能力“あらゆる・・・長ったらしいから限界突破！！（今命名）のお陰で半端なく鍛えられた脚力&速さ&スタミナでとりあえず魔物達から逃げる。

「よし、結構離れたしこの銃で！！」

たすら連発しまくった。最初らへんはすぐに倒せたが日を増す事に魔物達も強くなっていき、3年後には全員ボスキャラクターになり死にかけた回数が軽く500回を突破した。そういや、あの変な銃は魔力込めないと使え無い品物だと後から神さんに教えて貰った。しかもよく見ると『h a ● k / G . ● 』の主人公が使ってた双銃だったよww

とまあかなりグダグダだったが俺の修業内容の一部をお見せしたぜ。



(回想終了)

「・・・やっと転生出来るんだな」

「その分強くなったんだからいいじゃないか。あの世界で君に勝てる奴は多分いないよ」

そりゃあ今の俺の強さをテイルズのレベルで言うなら軽く500は

越えてるからな」

「このバグキャラめ」

「俺をそれにしたのはあんただよ!!で、やっぱり転生は赤ん坊から始まるのか?」

「大抵はそうだけど、残念な事に僕は位の低い神だからどう生まれるかは解らないんだ」

マジかよ!!とりあえずファブレ家には生まれないう願ったくか、あそこに生まれると色々と面倒臭そうだし。

「了解。神さん、今までありがとう」

俺は神さんに満面の笑みでお礼を言う。

「うん。僕も久しぶりに楽しませて貰ったからお互い様だよ。それから・・・」

神さんは俺にお礼を言うと、ある物を作り出した。

「これは・・・シャルティエ?」

「やっぱりオンと言えばシャルティエでしょ」

「だからこの顔はジュードスだっつの！で、それはただのシャルティエじゃないんだろ？」

俺の予想だとあれは魔改造済みシャルティエだ。

「その通り！！なんとこのシャル、レンズ無しでリライズ出来るんです！さらに！！このシャル、リミッター代わりにもなる優れものなんです！

今ならこちらのこの短剣。『クリスタガー』もお付けしてなんとお値段！《¥12万8千5百60円》の一括払いでのご提供をしたいと思います！！」

あれ？何か神さんがいきなり某社長のような喋り方でシャルティエ売ってきやがった・・・って金取んのかよ！？高いっつの・・・じゃないくて

「何いきなりキャラ崩壊しちゃってんですか！？」

「・・・偶には僕だって暴走したい時があるんだよ。とりあえずこの二つあげる」

「どうも、んじゃそろそろ行くよ」

「そだね。それじゃ逝ってらっしゃい」

✦第一話✦バグキャラ誕生（後書き）

感想ご指摘いつでもお待ちしております!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9016s/>

テイルズの世界に転生！！（改良バージョン

2011年10月8日15時32分発行